

1. 下水道台帳情報システム

概要

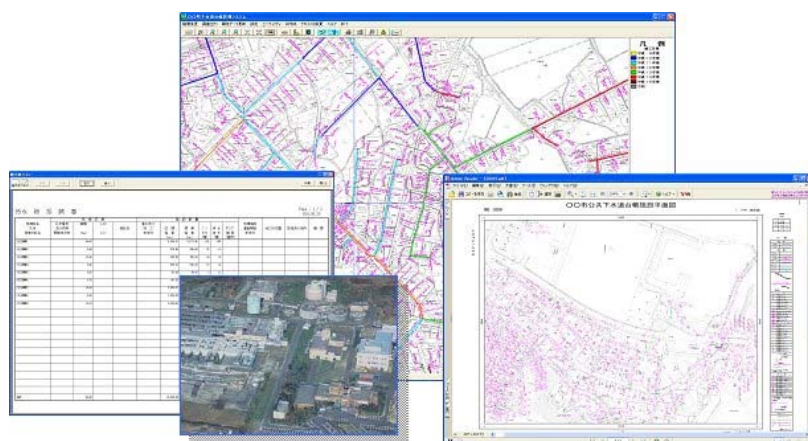
下水道事業は、建設からサービスレベルを確保するための維持管理が求められています。事業者が保有する膨大な管路ストックをデータベース化し、施設管理、維持管理、資産管理、業務管理、長寿命化対策支援まで、下水道業務をトータルに支援できる、下水道台帳情報システムを導入することが、維持管理業務を円滑に進めるために必要です。

業務実施のメリットや効果

- ① 管路施設、工事情報、図面ファイリングなどの下水道台帳情報だけでなく、排水設備、水洗化促進、カメラ調査データなどの下水道管路に係わる各種情報を一元管理するプラットフォームとなります。
- ② 地図情報システムに表示される管路施設と、企業会計移行に必要な管路資産情報とが関連付けられ、管路施設の取得価額、減価償却費等が確認できます。
- ③ 下水道台帳は、下水道長寿命化支援制度、ストックマネジメントに必要な基礎データとなるので、維持管理業務への円滑な移行ができます。
- ④ インターネットによる下水道台帳閲覧につなげることができます。

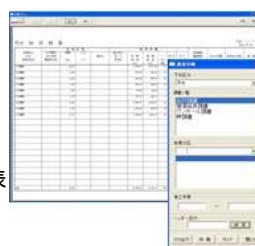
OECの下水道台帳情報システムは、管渠、マンホール、樹などの基礎データの蓄積だけでなく、管路資産情報、企業会計移行、長寿命化支援、ストックマネジメント等へ発展させることができるようにデータを構築し、豊富なアプリケーションでこれらを強力に支援します。

また、管路施設情報の登録が容易にできますので、樹設置工事後などの場面でユーザー登録ができます。



●施設情報の表示

地図上にある施設をクリックすることで、データベースに登録されている各施設の詳細な属性情報の表示ができます。また、添付図面や写真情報を属性として表示することもできます。



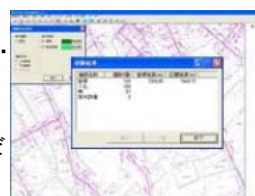
●法定調書の作成

「総括調書」、「管渠延長調書」など、下水道法や維持管理指針に基づいた調書を作成・出力します。また、処理区、施工年度、種別など細かな集計項目の指定ができます。



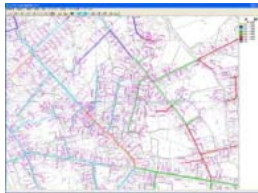
●条件検索

データベースに登録・管理されている大量の施設の情報を、処理区・年度・種別などの条件で検索・集計します。また、検索結果を表計算ソフトに受け渡すことができます。



●ネットワーク追跡機能

管路施設をクリックし、その管きょの上下流のネットワーク追跡が可能です。追跡結果は管・人孔・樹など施設項目・種別ごとに延長や個数が集計されます。



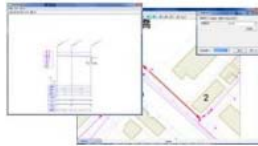
●分布表示

施工年度・管種・管径などを、属性データベースを参照し色分け表示します。これにより、下水道施設の分布状況の面的な把握を視覚的に行えます。



●ファイリング機能

竣工図、マンホール構造図、管布設図など様々な図面や図書を、イメージデータやCADデータなど、そのままの形式で保管・参照ができます。



●縦断図作成機能

地図上の下水道施設をクリックするだけで、縦断図の自動作成が可能です。また、平面図の切り出しや、縦断図と平面図の合成も可能です。

